

2016 年 7 月 5 日 (火)

震災・復興とリスクマネジメント (○) 国際都市神戸と世界の文化 () 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ () グローバルサイエンスと拠点都市神戸 () その他 ()
 神戸大学海洋底探査センター長の巽好幸先生研究室訪問・ディスカッション・特別講義

〔概要〕 神戸大学大学院理学研究科教授 兼 神戸大学海洋底探査 (KOBEC) センター長の巽好幸先生の研究室を訪問し、卒業論文のテーマについて発表・ディスカッションを実施しました。また、巽先生のご専門である火山や地震の最新の知見について特別講義を実施していただきました。



ひとりひとりが各自の研究テーマと今後の方針を発表し、それに対して多くのアドバイスを頂きました。



最新の火山・地震についての講義を受けることができました。



巽先生との記念撮影

<参加生徒の感想 (Nさん)>

一番印象に残ったことは、地震発生確率のお話です。今後 30 年に起こる地震の確率の地図を見たのは初めてだったのですが、見た時南海トラフ地震がこの先必ず起こると知っていたのでこの地図のようになるのは当たり前かと思いました。これは地震という自然災害に慣れてしまっている証拠であると思います。先生もおっしゃっていたように、この慣れが、どこかで自分は助かると考えてしまう要因で、これは日本全体の防災意識の低下、関心の低さに繋がっているのではないかと考えました。

また、私は学校で地学基礎や日本史を選択しているのですが今日のお話の中で学校でやったことと共通するものがあり、またそれ以上の学びをお話の中で得ることができたことがとても面白いと感じました。

これから個人の研究を進めていくにあたり、自分が知りたい事だけを調べて知るのではなく、なぜ日本は地震大国なのか地震はどのように起こるのかというような根本的なところからもう一度調べて直していきたいと思いました。